

脳が喜ぶ!心が笑う!

臨床美術

締切
5/12
(木)

臨床美術とは、様々な画材を使って創作活動することにより脳を活性化し心にゆとりを与えるアートセラピーのひとつです。

【予定プログラム(状況により変更あり)】

- 1回 5月 紫陽花を描く(色紙に紫陽花の花をオイルパステルと和紙で表現)
- 2回 6月 木漏れ日ボトル(アクリル板に光と影をトレーシングペーパーで表現)
- 3回 7月 土偶(祈りをこめて粘土で創作する)
- 4回 8月 重なる不思議な世界(水性インクの混色を楽しみ海の中を表現)
- 5回 9月 立体カボチャ(ゴロンと味わいのあるかぼちゃを和紙で作成)

日時

令和4年5月22日～9月25日(毎月第4日曜日)

13:00～15:00(5/22、6/26、7/24、8/28、9/25)

場所

西部障害者福祉会館 エ芸室(コムシティ5階)

対象

市内在住か勤務している障害のある人

定員

8名(抽選)

参加費

2,500円(材料代)

講師

日本臨床美術協会 臨床美術士 福井 道子先生

「臨床美術及び臨床美術士は、日本における(株)芸術造形研究所の登録商標です」

ガイドボランティア及び手話通訳・要約筆記の情報保障あり。

お申し込みは、来館、電話、ホームページ「しんしょう協会」、QRコードより受付ができます(聴覚障害の方はFAX可) QRコードの読み込みができない方は、s-koza@kita9-s.comへメールをして下さい



お申込み
お問合せ先

北九州市立西部障害者福祉会館

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ5階

TEL093-645-1300 FAX093-645-1600

受付:平日及び土曜日9:30～21:00 日曜日9:30～18:00 (休みは火曜日及び祝日)

聴覚障害の方専用FAX申込書 (脳が喜ぶ!心が笑う!臨床美術)

いずれかに○

名前	住所	FAX番号	情報保障
	〒		手話通訳 要約筆記

脳が喜ぶ! 心が笑う! 臨床美術

Clinical Art Guide



臨床美術とは?

上手も下手も関係なく、誰もが楽しみながら作品をつくることのできる、アートのひとつです。独自のアートプログラムに沿って創作活動を行うことにより脳が活性化します。認知症の症状改善を目的として始まりましたが、今では子どもや社会人など、様々な方々に実施されています。

↓ 社会人にも!



↓ おじいちゃん、おばあちゃんに!



↓ 学生にも!



↓ 子どもたちに!



臨床美術の流れ

描くこと、作ることが、楽しく身近になります

作品を楽しみながらつくる

独自のアートプログラム

クリエイティブな発想が育ちます

五感を刺激

リラックスできるコミュニケーション



日常生活が豊かになります

脳が活性化

家族間のコミュニケーションが活発になります

ココロの解放

感性の目覚め 覚醒



脳の活性化により生きる意欲が増加します

生きる意欲がわいてくる!

独自のアートプログラム例 [りんごの量感画]

たとえば見た目ではなく、香りや味の色から描いてみる。

りんごを描く前に、まずはじっくり触る。香りをかぐ。切って食べる。りんごの生い立ちを想像する。形や色などの「視覚」だけで描き始めるのではなく「五感」を総動員して描いていきます。自分は絵がヘタと思っている人が、夢中で手を動かしたくなるような。そんな自由で楽しいプログラムをたくさんご用意しております。



特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

[事務局] 〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂1-9-3 ShonanEminence 3F TEL 050-3735-2028 FAX 050-3737-9007

E-mail: association@arttherapy.gr.jp HP: http://www.arttherapy.gr.jp/

臨床美術士紹介サイト(臨床美術士ステーション) http://www.clinicalartist.jp/

※「臨床美術」および「臨床美術士」は日本における(株)芸術造形研究所の登録商標です。